

2014年8月

78号

平成26年8月1日発行

CAPNA

ニュースレター

発行 (認定) NPO 法人
CAPNA (子どもの虐待
防止ネットワーク)
事務局 〒460-0002 名古屋市
中区丸の内1-4-404
Tel:052-232-2880
印刷 常川印刷株式会社

地域で支える子育て支援

あかつき保育園長 山中 健司

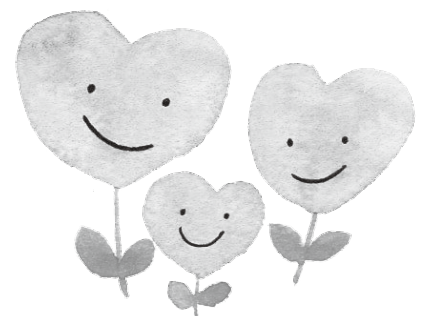
私は、30年間にわたり民間保育園の園長をしてきました。この間子育て環境は大きく変化し、保育園の役割も大きく変化しました。

しかしその変化は、小さい人が人として育つことを阻害する要因となっています。まず、核家族化が中心となり子育て機能が伝承されなくなったということがあげられます。第2に地域・輪の子育てから、孤立密室化された子育てに変わり、子育てが人間の最小単位である家庭だけに押し込まれました。第3に小さい人が群れて遊ぶ集団がなくなりテレビを中心とした情報生活が展開され実体験に乏しくなりました。最後は、子育ては相変わらず女性に任せられ、女性は仕事でも男性と同様の働き方が求められ、「男性は仕事、女性は育児も仕事も」求められるようになりました。

こんな変化の中で、「お母さんたち」は（育児の中心は母親が担っている場合が多いので、ここでは「お母さん」という言い方をします。）育児に対して不安感を強く持っていますし、一人で判断しなければならないので、小さい人の最善の利益ではなく親の都合で子育てを行うようになり、「しつけ」をどうすればよいか悩んでいます。

この原因は、子育て環境の変化のみならず、現代人の「孤独」「孤立」にあると思われます。私達は「一人の子育て」ではなく「みんなの中の子育て」を合言葉に、西区子育て支援会議を、区社協・区役所・保健所・児童館・主任児童委員・女性会・子育てNPO・個人のみなさんで組織し、「もこもこ」という広場を、週3日開催しています。また、「のびのび子育てサポート」という事業も実施し、地域の方々に子育てのサポートをお願いしています。

一人一人が、少し「おせっかい」になり、いろんな機会に声をかけ「子育ては、あなただけがしなければならないものではないよ」って伝えていくことこそ、地域で支える子育て支援の第一歩だと確信しています。



CAPNA市民講座**「子どもたちの未来のために」を聞いて**

木村 早苗

最初に名古屋市の副市長岩城氏の挨拶がありました。動く勇気が大切、と。日本ではまだまだ間違いを恐れて通報が少ないそうです。

子どもの事を大事に思うアグネス・チャンさんの思いが伝わってくる講演でした。

虐待の一番の原因は貧困と戦争だそうです。しかし、今のところ戦争はない日本。東南アジアなどの、あるいは「おしん」の時代の貧困と比べたらたいしたことのない日本。ほとんどの子どもが教育を受けているし、生活保護を受給すれば子どもにひもじい思いをさせなくて済む。そんな日本でも、酷い虐待のケースがあります。いや、そんな幸せなはずの国だからこそ、虐待される子どもの悲惨さは大きいのかもしれません。

親の都合で、親の思い込みで、親の怠慢で、命を落とす子どもたち。話を聞いていると、同じ人間として情けなくなりました。1人の力では虐待を防ぐことはできなくても、関心を持って見守り、時には通報することでブレーキになればよいと思います。

**CAPNAに参加して**

木曜日 G Y

研修期間も含め2年が過ぎました。ホットラインでは想像もできないような難しい内容の電話が多くかかってきます。受話器を置いた後は自責の念に駆られることがたびたびです。

ああ言えばよかった…、あの言葉に傷ついていないかしら…、少しは軽くなったかな…、なんて相談者の方に思いを巡らせてしまいます。

いつも幸いなことに、その場で先輩方からアドバイスを受け励ましていただいています。そのお蔭で最後には『寄り添い精一杯一緒に考えた。だからこれでいい。』という考えにたどり着くことができます。次回の電話も一期一会の時間を心込めて共有させて頂こうと誓えるのです。

そして、CAPNAからの帰り道は小学生の集団下校の時刻です。自転車を走らせていると見覚えのある子供たちの笑い声と笑顔に出会います。手を振りあって深く思います。

『CAPNAに参加してよかった。子供達の笑顔のために出来る事をすればいい。これからもずっと続けていきたい。』

ぜひ、来てください!

子ども虐待防止世界会議名古屋

(第20回ISPCAN世界大会・第20回JaSPCAN学術集会)

テーマ 子ども中心の社会に向けて：過去から学び、未来に向けて行動しよう
Towards child-centered societies: Learn from the past, act for the future

井上 直美

2014年9月13日(土)から17日(木)の期間、名古屋国際会議場で開催されます。CAPNAのメンバーがたくさん現地実行委員会に参加して、いろいろな準備に力を出してきています。また、13日に行われるユースフォーラムの事務局をCAPNAが担っていますし、子ども虐待防止NPOフォーラムにもCAPNAが一役買っています。

日本語で発表されるJaSPCANプログラムも例年同様たくさんの興味深いシンポジウムや一般演題が予定されていますし、豪華な講師陣によるスポンサード、セッションが10も用意されています。さらに、先進的な取り組みが世界中から発表されるISPCANプログラムの多くは英語発表に日本語の同時通訳が入ります。

人々の関心と協力が集まることによって、子ども虐待を減らす一歩ずつを日本の社会が進んでいくことができます。周りの方に声をかけていただきながら、参加者あるいはボランティアとしてのご協力をよろしくお願いいたします。

CAPNA流おもてなし

小久保 裕美

「尾張名古屋は城でもつ」に象徴されるように名古屋は壮大なもの、金シャチのように贅をつくしたものを尊ぶ地域だった。その名古屋で行う「おもてなし」それはどのような派手さになるのだろうか。金杯か、鳴り物か、それは未知なるものだ。不思議な世界に遭遇したい人たちは2つのディナータイムに参加していただきたい。

さて、ここで、CAPNAの会員だけにこっそり「お・た・の・し・み」袋を覗いていただこう。15日のウェルカム・レセプションは、名古屋を代表する踊りが登場する。そしてかの武将隊がはせ参じるのだ。はたまたはやりのゆるきゃらの輪がお迎えする。薫り高い文化と現代の融合だ。16日のカルチャーディナーは、何と名古屋8月の大イベントが場所を変えて登場する。そして名古屋の地域の底力の結集がそれを支える。参加型の文化交流だ。その一方で、抹茶体験、呈茶コーナーもなごや流のお迎えが用意されている。

ISPカン ユースフォーラム

白石 淑江

ユースフォーラムは、子ども虐待防止世界会議に先立ち、9月13日(土)に開催される、ISPCAN主催のユースの集会です。そして、CAPNAはその事務局を引き受けています。

昨年の夏に、子どもの福祉や教育に関わる活動団体(NPO)に協力を呼びかけ、実行委員会を立ち上げましたが、それも7月で10回目になりました。実行委員会のメンバーは、子どもの権利に関心を持つ中学生、高校生をはじめ、児童養護施設利用経験者や非行予防を目的とした街頭パトロールや居場所づくりを行っている学生や若者などが主役です。

そして、それぞれが、なぜ実行委員会に参加したのかを語り合い、虐待を受けた経験や家族の問題を抱えて悩んでいることなどを話し合うなかで、テーマを決定しました。「私たちの思いが世界を変える“*Our voices change the world*”」このテーマには、同じような思いを抱えているユースたちとつながり、その声を社会に発信することで、児童虐待が多発する現在の状況を変えていきたいという願いが込められています。フォーラム当日には、ユースたちの声が力強く会場に響くよう、会員の皆様のご支援を宜しくお願い致します。

第20回「子ども虐待防止世界会議名古屋2014」

子ども虐待防止NPOフォーラム 「日本の民間団体活動を世界の視点から考える」

日本において、子ども虐待防止を目指す民間団体は、先駆性、独創性、非権力性、柔軟性といった特長を活かして、子ども虐待の予防、介入、支援、啓発等、さまざまな分野において多様な活動を展開してきました。しかし、その多くは人的にも財政的にも極めて厳しい状況のなかで運営されているのが実情で、本来の活動を担うことが困難になっている団体も見受けられます。一方で、子ども虐待に対応する公的機関として、市町村の役割が重視されるようになってきた現在、地域に根差した活動を担う民間団体への期待は日増しに大きくなっています。

本フォーラムでは、日本で活動する民間団体が果たすべき役割を確認し、行政と連携しながら独自の役割を果たすために必要な基盤整備のあり方について、外国での経験を参考に、皆さんと一緒に考えたいと思います。

民間団体同士の交流も予定しています、ぜひご参加ください。

日時：2014年9月13日
18:30～20:30
場所：名古屋国際会議場
参加費：無料

■プログラム(予定)
基調講演 「子ども虐待防止において民間団体が果たすべき役割と運営」
Dr. Adam M Tomison (アダムトミソン氏)
シンポジウム「子ども虐待防止における民間団体の役割と地方自治体との連携」
民間の立場：児童虐待防止協会(津崎哲郎氏)
市の立場：茅ヶ崎市(伊藤徳馬氏)
県での仕事を経験して：滋賀県(郷間明氏)
コメンテーター アダムトミソン氏

C A P N A 総 会

理事長 兼田 智彦

2014年度のCAPNA総会は、5月25日(日) 10時30分～12時にウイルあいち特別会議室で行われました。

理事長あいさつとして、第20回ISPCAN子ども虐待防止世界会議名古屋の成功に向けて、会員の協力をお願いすること。CAPNAが設立以来来年で20周年となり、財政は危機的な状況となっているので、早急な対策が必要である。2014年度もこれまで行ってきた電話相談・メール相談・シェルター支援・委託事業を中心とした虐待防止研修事業・広報啓発活動に取り組むことを確認しました。

来賓として、名古屋市中央児童相談所長の渡辺様からご祝辞を頂きました。

議事として、1号議案 2013年度事業報告に関する件、2号議案 2013年度決算報告に関する件、3号議案 2014年度事業計画に関する件、4号議案 2014年度予算に関する件が上程され、担当者からの説明ののち、賛成多数で可決成立しました。

議事終了後、CAPNAの進むべき道について、理事長の兼田から発題させていただきました。

CAPNAの現状と課題

CAPNA設立18年目の2013年度を終えることができました。これもひとえに皆様方のボランティア精神とご尽力のおかげです。

理事・スタッフ一同心より感謝申し上げます。

さて、CAPNAの1年は課題山積の1年でした。本年9月に開催される「第20回ISPCAN子ども虐待防止世界会議名古屋」のさまざまな準備を担っている最中で、会議の成功のために努力されているところです。9月まではあとわずかですが、私たちは日本の優れた母子保健や子どもへの施策を世界に向けてアピールしたいと思います。そして、世界の実情を知り、今後の活動に生かそうではありませんか。

CAPNAの18年間の活動の中で、10年ごとに区切るとすると、創設期の10年はあいち万博までです。その後の10年を充実期とすると、間もなくその充実期も終わろうとしています。

これまでの私たちの活動をふりかえると、虐待死の防止などについてCAPNAの果たした役割は十分に有り、泣き寝入りしていた子どもたちが救われるようになったはずです。

そういう意味では私たちの活動は効果があり、もっと自信を持って活動をしてよいと思います。

しかし、CAPNAの財政基盤は脆弱で慢性的な赤字体質は改善されていません。また、ボランティアの高齢化、応募者の減少など私たちの活動を支える、人とお金をどのように確保していくかという大きな課題があります。

2014年はその課題の解決に向けて、皆さんの力を合わせようではありませんか。

2014年7月

CAPNA理事長 兼田智彦

ボランティア募集中!!

～皆さまのお力をお貸しください～

CAPNA が参加する様々なイベントにご協力いただけるボランティアを随時募集しております。

主に啓発活動やワークショップを一緒に行なっていただきます。

多くの方にボランティアとして参加していただき、CAPNA の活動を知っていただくと同時に CAPNA を支えていただきたいと思います。

詳しくは CAPNA 事務局まで (052-232-2880) お問い合わせください。



☆子ども虐待防止世界会議名古屋 2014 のボランティアも募集中です!! ☆

今年 9 月 14 日 (日) ～ 17 日 (水) に名古屋国際会議場にて『子ども虐待防止世界会議名古屋 2014』が開催されます。この会議には世界 70 カ国以上からの参加が見込まれています。この会議の開催趣旨に賛同し、会場運営のサポートをしてくださるボランティア (一般及び語学) を募集しております。詳しくは同封のボランティア募集の案内をごらんください。

～今後のイベント予定～

★性虐待初期対応 (RIFCR) 研修会

リフカーの役立つ職業としては、子どもに接する仕事 (児童相談所・市役所・警察・養護施設・乳児院・学校・保育園・児童館・放課後子どもクラブ・スポーツクラブ・塾など) があります。

アメリカ・コーナーハウス認定日本人講師陣が実施いたします。

CAPNA の HP にも掲載しています。

☆プログラムの内容☆

- ・子供たちは性虐待をどのように経験するのか
- ・虐待を打ち明けるプロセス
- ・子どもの性的発達
- ・日本の児童保護制度
- ・RIFCR (リフカー) プロトコル

日時：8 月 25 日 (土)、10 月 8 日 (水)、11 月 22 日 (土)、12 月 26 日 (金) の 4 日のうち、
いずれか一日受講できる方

研修時間：9：00～18：00 (昼休憩 1 時間、途中休憩あり)

会場：アレックスビル 1 階会議室

参加費：8,000 円 (当日現金での支払となります)

定員：各日 30 名程度 先着順 参加確定書をお送りします。

どなたでも受講可能です。申込みは事務局まで (052-232-2880) お問い合わせください。

【お詫び・訂正】10月の寄附者の伊東毅さんの「東」の字が「藤」になっておりました。
大変ご迷惑をおかけしました。

最近の活動の状況

◇電話相談 子どもの虐待防止ホットライン・あいち
平成25年度（4月～3月末日）電話相談結果報告

① 総受信件数 1,061件
〈件数の内訳〉

1) 相談者性別・年代

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	不明	合計
女性	16	136	228	189	218	29	295	1091
男性	3	9	15	5	3	1	21	57

性別不明13名

2) 利用回数

初回	継続
623	538

3) 相談時間

～9	～19	～29	～39	～49	～59	60分以上	平均時間
135	207	201	181	140	112	185	34分

4) 被虐待経験の有無

あり	なし	不明
469	110	582

② 内容別件数

虐待(含む危惧)	216
18歳以上の虐待	281
育児不安	296
マスコミ・問合せ	42
その他相談	310

◇メール相談受信件数 4月～6月.....

月	受信件数	内 虐待相談
4月	70件	50件
5月	74件	51件
6月	107件	75件
合計	251件	176件

ご寄付

次の皆さまからご寄付をいただきました。
お礼申し上げます。
(2012.4～2014.6 順不同 敬称略)

- | | | | | | | | |
|---------|--------|--------|--------|-------|-------------|------------|---------|
| ・小川麻子 | ・横井幸子 | ・津崎哲雄 | ・谷川輝美 | ・塚崎真澄 | ・永田雅枝 | ・細田清美 | ・木澤和子 |
| ・横田実 | ・前島美津枝 | ・飯沼敏子 | ・池田美智代 | ・天野清美 | ・塩出澄子 | ・井上光子 | ・萬屋育子 |
| ・柴田美智子 | ・田宮寛 | ・岩城正光 | ・岡田尚子 | ・林恵美子 | ・北原和子 | ・木村剛 | ・五十嵐ベティ |
| ・井階弥可 | ・野田正文 | ・朝見巳幸 | ・爾見かね子 | ・服部恵子 | ・吉田由美 | ・国際ソロプチミスト | |
| ・いふき保育園 | ・水谷早美 | ・小笠原定美 | ・小久保裕美 | ・小森孝一 | ・パブリックソース財団 | 匿名希望 5名 | |

事務局たより

事務局 兼田 水野 齊藤 田中

今年は空梅雨のようで、蒸し暑い日が続いています。気づけばもう7月の半ば。あっという間に9月の世界会議を迎えることになりそうです。ボランティア募集も始まっています。参加も含め、みなさんのご協力のもと、盛り上げていきたいと思えます。世界会議という大きなイベントを控えてはいますが、CAPNAとしての地道な活動も引き続きコツコツやっていきたいところです。会員の皆様をはじめ関係者の皆様にはいつもご協力いただき、本当にありがとうございます。今後もよろしくお願いいたします。

世界会議開催により、また、CAPNAの活動により、珍しくなくなってきている「児童虐待」「虐待死」への関心が広まり、小さな命が1つでも多く救える一歩に繋がることを祈るばかりです。

編集後記

本号から全理事が順に編集にあたらせていただくことになりました。今回は、山中健司と井上直美が担当させていただきました。これまで力を出し続けてくださった小久保さん、白石さん、萬屋さん、兼田さん、ありがとうございました。先輩のアドバイスをいただき、これから予定されているイベントや地域での活動も入れてみました。これからも担当者の味付けで、毎号少しずつ変わっていくのが楽しみです。

(井上直美)

